

認知症

認知：ある対象に気づき、それについての情報・知識を獲得し、編成し、そして利用する心理学的活動あるいはその過程。知覚、認識、判断、推理、想像に加えて、感覚も認知の領域とされる。

平成21年～24年にかけて行われた研究報告¹⁾によると、認知症の有病率は65～69歳では約3%ですが、85～89歳で約40%、95歳以上では約80%に達しており、長生きの現代、誰もがかかりうる疾患の一つです。



認知症のいろいろ

認知症は、「記憶、思考、見当識、理解、計算、学習、言語、判断等多数の高次機能の障害からなる症候群」をまとめて認知症と呼んでいるため、その原因疾患は多岐にわたります。

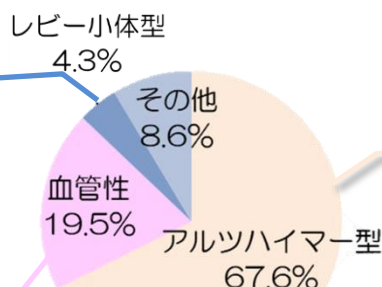
約30年前まで、認知症の原因は脳梗塞・脳出血・脳動脈硬化等のために、神経の細胞に栄養や酸素がいきわたらなくなった結果、その部分の脳細胞が死んだり、神経のネットワークが壊れてしまう血管性のものが約6割を占めていました。しかし、平成25年時点では脳にアミロイドβ・リン酸化タウ等、脳のごみと呼ばれる不要なタンパク質がたまることで神経細胞が変質・死滅することが原因と考えられている、アルツハイマー病が原因の7割弱となっています。

レビー小体型認知症

初期はうつ症状がみられることがあります。現実にはないものが見える幻視や、手足が震えたり筋肉が固くなるといった症状が現れます。歩幅が小刻みになり、転びやすくなります。

脳血管性認知症

脳血管障害が起こるたびに段階的に進行します。また障害を受けた部分によって症状が異なりますが、手足のしびれが出たり、感情のコントロールが難しくなることが多いです。



グラフ引用

1)「都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応」H25.5 報告

アルツハイマー病

昔のことはよく覚えていますが、最近のことは忘れてしまいます。軽度の物忘れからゆっくり進行し、やがて時間や場所の感覚がなくなっていくます。

中核症状と周辺症状（BPSD）

脳の細胞が壊れることによって直接起こる症状を中核症状といいます。そして、中核症状に、もとの性格・環境・人間関係等様々な要因が絡み合って起こる症状を周辺症状（BPSD）と言い、行動面の症状と精神面の症状に分けられます。

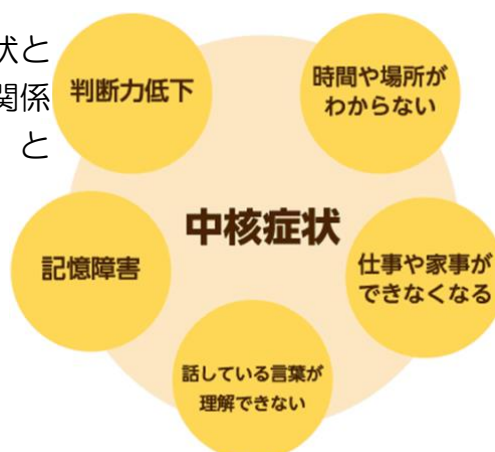
周辺症状（BPSD）

行動症状

徘徊・多動・不潔行為・収集癖・暴言暴力

精神症状

不安・抑うつ・妄想・幻覚・誤認



認知症に効果のある薬はあるの？



認知症に対する薬は大きく、中核症状の進行を抑えることを目的とした認知機能改善薬と、行動心理症状（BPSD）の軽減を目的とした向精神薬や睡眠薬に分けられます。

アルツハイマー型認知症に処方されるのは、意欲の回復を期待したり、脳の神経バランスの崩れによるイライラや怒りを穏やかにしたり、神経バランスを調整する薬です。

現在使用されている薬は、認知症の進行を止めるのではなく、遅らせることを目的としており、記憶障害や行動障害を劇的に改善させる効果は期待できませんが、生き残ってる神経細胞を活性化させ、脳の働きをある程度保たせる可能性があり、妄想や易怒性（急に怒り出す）を改善し、生活の質を上げる効果が期待できます。

認知症は予防できる？

残念ながら、確実に認知症を予防できる方法はありません。しかし、高血圧や糖尿病、脂質異常症等の生活習慣病と認知症の関連性を示す研究は多くあり、これらは適度な運動やバランスの取れた食生活で予防することが可能です。



また、2003 年から、国立長寿医療研修センターが 9 年以上かけて調査した所、社会的つながりの多い高齢者は認知症の発症リスクが 46% 低かったという結果が出ました。この結果を受けて、当時の、国立長寿医療研究センターの室長は「特に配偶者がいない人や、家族との支援のやりとりが期待できない高齢者では、友人・近隣との交流やグループ活動、就労を推進することが、認知症を予防するために重要と考えられます」と話しています。

利用できる可能性のある制度は？

介護保険制度

サービスを利用できるのは要介護認定を受けた 65 歳以上の方ですが、「**初老期における認知症と診断される認知障害**」と診断された場合は 40 歳以上の方も利用できます。サービスの種類は、訪問介護、訪問看護、通所介護（デイサービス）、デイケア（通所リハビリテーション）、ショートステイ（短期入所生活介護）等がありますが、どのサービスをどれくらい利用できるかは、介護度の認定結果によって異なります。



要介護認定を受けたい場合は、お住いの市町村に申請してください。周防大島町の場合は介護保険課（0820-73-5503）がお問い合わせ先になります。

発行機関：周防大島町病院事業局 作成担当：総務課

引用・参考 1) 厚生労働科学研究費補助金 認知症対策総合研究事業 「都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応」 H25.5 報告
ぜんぶ分かる脳の事典・認知症の正しい理解と包括的医療・ケアのポイント
厚生労働省：政策レポート（認知症を理解する）（mhlw.go.jp）
もし、家族や自分が認知症になったら 知っておきたい認知症のキホン | 政府広報オンライン 他